

2024年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A	： たいへんよい
B	： よい
C	： 一部検討を要する
D	： 改善を要する

保育所・こども園名 【 上木崎保育所 】

自己評価の観点	前年度の評価	本年度の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	B	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	B	B
評価の根拠 保育理念や園の保育方針・目標に応じて保育を行っている。園の保育方針について考え、保育に活かそうとしている。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	B
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	B
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	B
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	A	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 保育内容について、クラスでしっかり共有できている。年齢別の具体的な保育内容について理解を深め、検討、共有していくことが課題と考える。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	B
評価の根拠 子どもの体調や環境等、子どもの状態を把握しながら保育ができています。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 必要な行事は行うことができていると考えられ、園内で話し合いを重ね、保護者や子どもたちの意見も取り入れられている。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	A
評価の根拠 食育が充実しており、日常的に調理担当者と子どもたちの交流があり、子どもたちも喜んで関わろうとしている。保育と調理の連携がとれている。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	B	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	C
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	C
評価の根拠 リーダー会議の内容と時間配分の調整が必要。会議の時にテーマを絞って話し合う機会があるとよいと考える。		

自己評価の観点		前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		B	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		A	B
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		B	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		A	B
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている		B	B
評価の根拠 日々の生活の中で保育者が清掃をしたり、子どもと部屋やモノの使い方を考えているため清潔を保っている。			
8. 研修について			
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		B	B
② 研修報告を園内で実施している		B	B
評価の根拠 学びのある研修を受講しているため、報告を園内で活かせるような形を考えることが課題と考える。			
9. 情報管理について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している		A	B
評価の根拠 クラス内に限らず、園全体で管理法について共有している。			
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		A	B
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		B	B
評価の根拠 安全点検を定期的実施し、整備が必要な個所は迅速に共有し対応している。掲示は工夫している。			
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている		A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		A	A
評価の根拠 日ごろから家庭との連携が図れるよう保育者間の情報共有が行われている。			
12. 開かれた園づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		B	B
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している		B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		B	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している		C	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている		A	A
評価の根拠 子育てサロンを開設しているが、今後園に合った地域交流を少しずつ広げていきたいと考える。			
13. 情報発信について			
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている		A	A
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている		B	B
評価の根拠 ドキュメンテーションを活用しているほか、日々の保育の様子をコドモンを利用して配信している。			
14. 人権擁護について			
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉かけや関わりをしている		B	B
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている		A	A
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている			B
評価の根拠 どんな年齢の子も「一人の人」として関わることは意識しあえており、子どもの人権を尊重するようにしている。			
15. 総括			
年間とおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。			
・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点			
職員各々が話ができることが増えた。子どもの様子について、保育者間で話し合う機会を意識的に持ち、担任同士で意見の交換、共有を行うことができた。ほかのクラスとの連携や関わりなど、横のつながりが多く、子どもたちも楽しんでいた。			
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点			
年齢に応じた制作、遊びなど、全体の育ちの流れを共有し、園としての保育を確立すること及び近隣の園や施設など地域との交流を広めていく。			